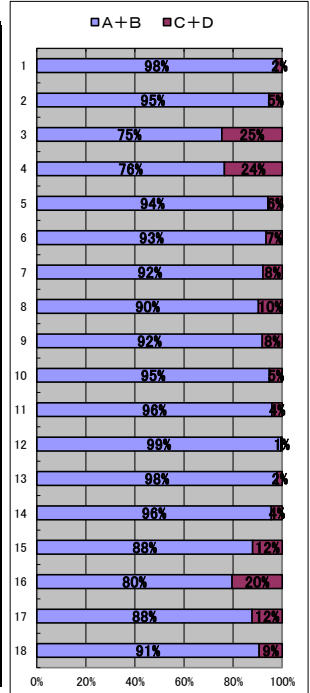


令和6年度の学校づくりに向けて
—後期学校評価結果のおしらせ—

保護者の皆様には「第五中学校の教育に関するアンケート」にご協力いただき、誠にありがとうございました。評価の結果は下記のとおりです。アンケート結果を真摯に受けとめ、教職員一丸となって今後の学校づくりを進めてまいります。今後も、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

学校生活に関するアンケート集計(生徒)

学 習 自 己 評 価	評 価 項 目	評 価				評 価		割 合		昨年度後期		
		①	②	③	④	①+②	③+④	合計	①+②	③+④	①+②	③+④
学習自己評価	1 授業開始2分前に着席し、授業の準備をしている。	252	121	9	0	373	9	382	98%	2%	98%	2%
	2 授業中は先生や友達の話真剣に聞いたりノートを書いていねいに取ったりしている。	210	151	21	0	361	21	382	95%	5%	94%	6%
	3 宿題や提出ノートは毎日提出している。	157	131	74	20	288	94	382	75%	25%	76%	24%
授業評価	4 先生方は、チャイムとともに教室に来ている。	72	220	81	9	292	90	382	76%	24%	87%	13%
	5 先生方の授業はわかりやすい。	166	194	20	2	360	22	382	94%	6%	94%	6%
	6 授業では、自分の考えなどを書く場面がある。	178	179	24	1	357	25	382	93%	7%	92%	8%
	7 授業では、友達と考えを話し合う場面がある。	208	144	27	3	352	30	382	92%	8%	94%	6%
生活自己評価	8 学校での生活は楽しい。	229	116	30	7	345	37	382	90%	10%	88%	12%
	9 さわやかなあいさつができています。	208	143	24	7	351	31	382	92%	8%	92%	8%
	10 時間を守った生活ができています。	212	150	18	2	362	20	382	95%	5%	95%	5%
	11 友達の気持ちを考えた行動をしている。	230	136	14	2	366	16	382	96%	4%	98%	2%
	12 服装を整え、生活の決まりを守って生活している。	314	66	2	0	380	2	382	99%	1%	99%	1%
	13 無言清掃や給食当番など、自分の分担に責任を持って取り組んでいる。	286	88	7	1	374	8	382	98%	2%	98%	2%
	14 生徒会活動や学校行事に積極的に参加している。	244	121	17	0	365	17	382	96%	4%	95%	5%
	15 部活動(またはそれにかかわるもの)に意欲的に取り組んでいる。	276	60	10	36	336	46	382	88%	12%	89%	11%
生活評価	16 悩みなどの相談に乗ってくれる先生がいる。	157	147	57	21	304	78	382	80%	20%	81%	19%
	17 先生方は、生活の3重点を意識して生活している。	167	168	38	9	335	47	382	88%	12%	93%	7%
	18 学校は、命の大切さや社会のルールを教えてください。	200	146	27	9	346	36	382	91%	9%	93%	7%
	平均				347	35	平均	91%	9%	92%	8%	



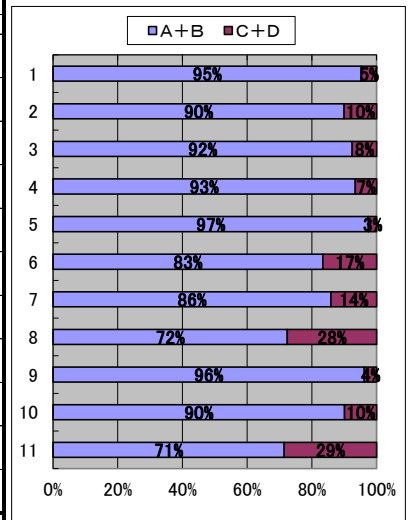
○「学習・授業への取り組み」(項目1~7)の評価結果を見ますと、昨年度後期の割合と比較して大きな変動がありません。昨年度と同様と言いつつも、項目3ではA+Bの割合が他項目と比べ低いといった現状があります。引き続き、宿題・提出ノートを行う意義の捉え直し、意識を高める必要があります。教員が授業開始時刻に遅れないよう最大限の努力を求められるのは言うまでもありません。

○「学校生活に関する自己評価」(項目8~15)では、どの項目においても昨年度とは同程度です。年度が替わり、生徒が入れ替わっても五中の雰囲気が変わらず、安定していると言えるかもしれません。項目15のA+Bの割合が低い傾向は変わりません。前期の考察でも述べたとおり、趣味や学習なども打ち込んでいれば認められることを周知させたいものです。

○項目16では、教員から「多くの生徒に一声かける」を意識して、継続して「相談しやすい環境づくり」をしていきます。

教育に関するアンケート集計(保護者)

項 目	評 価				合計	割 合		昨年度後期	
	A	B	C	D		A+B	C+D	A+B	C+D
1 学校は、教育方針をわかりやすく伝えている。(学校より、学校要覧、講話など)	128	176	15	0	319	95%	5%	94%	6%
2 学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。	114	173	30	2	319	90%	10%	91%	9%
3 学校は、生徒の悩みや相談に対応してくれる。	114	181	23	1	319	92%	8%	91%	9%
4 学校は、家庭への連絡等、丁寧に行っている。	145	153	20	1	319	93%	7%	94%	6%
5 学校・学年・学級便りなどの学校からの情報は、適切な内容である。	179	132	8	0	319	97%	3%	95%	5%
6 子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。	136	130	42	11	319	83%	17%	82%	18%
7 子どもは、さわやかな挨拶ができています。(学校や地域で)	100	174	43	2	319	86%	14%	83%	17%
8 子どもは、時間を守った生活をしている。	75	156	76	12	319	72%	28%	76%	24%
9 子どもは、中学生にふさわしい服装や態度で生活している。	182	125	12	0	319	96%	4%	97%	3%
10 子どもは、部活動に意欲的に取り組んでいる。	170	40	9	14	233	90%	10%	95%	5%
11 子どもは、授業が分かりやすいと感じている。	41	187	84	7	319	71%	29%	78%	22%
平均					311	88%	12%	89%	11%



○学校からの情報発信(項目1, 5)については、昨年度に引き続き、A+Bの割合が90%以上と高い割合です。今後も学校生活の様子や学校運営の願いなど、ホームページや学校だより等を通じて発信してまいります。

○項目2については、90%は超えているものの、集団生活の中で不安な思いを抱えている生徒が1割いることを重く受け止め、学年職員、教科担任をはじめ、全職員が足並みをそろえ、生徒の指導と支援にあたります。生徒同士のトラブルの解決のために大切になる項目3, 4につきましては、前期の学校評価と比較し、A+Bの割合がそれぞれ3%ずつ高くなりました。今後も生徒の悩みに寄り添い、ご家庭との連携を大切にすることを大事にしてまいります。

○生活の重点である「あいさつ」について、前年度後期と比較し3%向上しました。校内では爽やかな挨拶が交わされており、生徒の中に「あいさつ」が位置づいていることが伺えます。さらに校外で、地域の方や小学生に対しても、自発的に爽やかな挨拶を行えるようになることを目指します。

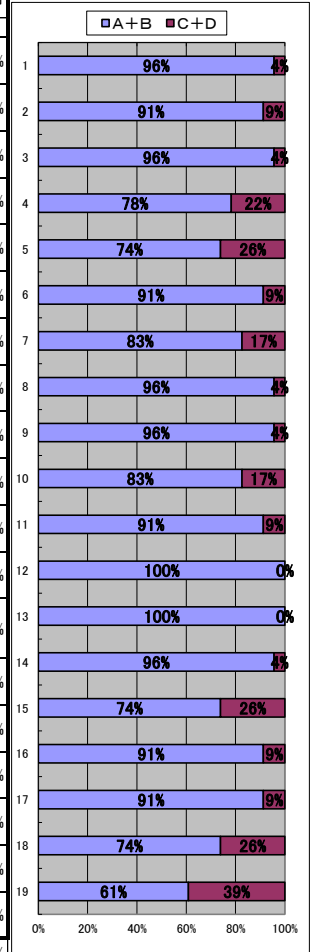
○項目7, 9の評価に対し、項目8の評価はA+Bの割合が72%と低くなっています。昨年度と比較しても4%のマイナスです。学校では2分前着席などを心がける指導をしておりますが、形だけでなく、「時間を守る」ことの大切さを伝えてまいります。

○項目11については、授業が分かりやすいと感じている生徒の割合が94%に対し、保護者の割合が大きく下回っていることから、授業の中で理解した学習事項が十分に定着していない可能性があります。宿題についての要望もいくつかありました。目的をもって家庭学習に取り組めるように、引き続き工夫してまいります。

○項目6「子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている」が1%上昇しました。今後も授業や学校生活がより充実するよう努めると共に、悩みや不安を抱えている生徒への支援により一層力を入れてまいります。

教育に関するアンケート集計（教職員）

領域	具体的方策	評価					評価		割合		昨年度後期	
		A	B	C	D	合計	A+B	C+D	A+B	C+D	A+B	C+D
教育活動	1 1時間ごとの授業や単元でのつづける力の明確化。	7	15	1	0	23	22	1	96%	4%	96%	4%
	2 学び合う授業場面の設定と個に応じた学習指導の工夫。	4	17	2	0	23	21	2	91%	9%	93%	7%
	3 生徒ひとり一人の学びを把握し、個を支援する授業	3	19	1	0	23	22	1	96%	4%	89%	11%
	4 自己評価や相互評価を取り入れた評価（見返し場面の工夫）	4	14	5	0	23	18	5	78%	22%	75%	25%
	5 自分の姿を追求するための体験を通した授業	4	13	5	1	23	17	6	74%	26%	71%	29%
	6 五人権宣言に基づいた人権同和教育、道徳教育の推進	7	14	2	0	23	21	2	91%	9%	96%	4%
	7 体験を取り入れた総合的な学習の時間の内容の充実	9	10	4	0	23	19	4	83%	17%	79%	21%
	8 意見を言い合える場の設定	6	16	1	0	23	22	1	96%	4%	93%	7%
	9 朝の読書、読書仲間の一斉読書の推進	15	7	1	0	23	22	1	96%	4%	89%	11%
	10 生活の3重点、部活動の重点の深化	4	15	4	0	23	19	4	83%	17%	93%	7%
	11 規範意識の醸成と生命を尊重する指導の充実	5	16	2	0	23	21	2	91%	9%	96%	4%
	12 生徒の訴えや申し出に対する受け止めと即時対応。	7	16	0	0	23	23	0	100%	0%	96%	4%
	13 カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導(よ〜く観る、よ〜く聴く)	4	19	0	0	23	23	0	100%	0%	93%	7%
学校運営	14 学校だより、学年だより等の定期的な発行とHPの更新	8	14	1	0	23	22	1	96%	4%	100%	0%
	15 学校公開の実施と地域講師等の有効活用	2	15	5	1	23	17	6	74%	26%	64%	36%
	16 学級、学年PTAの充実と地域の方々との懇談	7	14	2	0	23	21	2	91%	9%	89%	11%
	17 個に応じた指導法の工夫と指導計画の見直し	5	16	2	0	23	21	2	91%	9%	86%	14%
	18 見合う授業参観やミニ研究会による指導方法や技術の研究	2	15	6	0	23	17	6	74%	26%	68%	32%
	19 公開授業や外部研修会への積極的な参加	4	10	8	1	23	14	9	61%	39%	71%	29%
平均						20	3	87%	13%	86%	14%	



○「生徒が安心して学習、学校生活に取り組めるための規範意識の醸成」「生徒が困難に陥ったときの素早い対応」、また、「カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導」について全職員が心掛け、実践しています。今後も引き続き継続してまいります。

○学習指導においては、項目3・7・9において改善が見られました。今後さらに高められるよう、『主体的・対話的で深い学び』の実現に向け、授業の中で生徒同士が意見・思いを伝え合い、相互に高め合う対話的な活動』をさらに大事にしていきたいと思っております。

○項目4・5「探究的な学習」については、生徒たちが生き生きとした学習を展開するうえでも実践できるよう、来年度の教育課程を組む中で工夫してまいります。

○項目15については、新型コロナウイルス感染症の5類移行による諸会合の再開により値が向上しています。

○項目18については、教職員の多忙化の影響（感染症対策の変化・校舎建て替えによる行事等の企画運営法の変更など多くの事情による）でなかなか互いに研修し合うことができていませんが、可能な限りの実践を来年度も引き続きしていきたいと考えております。

＜令和5年度後期の学校評価」の集計ができましたので、つぎの5点に絞ってご報告いたします。＞

☆詳細は、上記の集計表をご覧ください

- 1 生徒の学習自己評価 → 授業の内容は理解できても、学習内容を定着させるためには継続的な自主学習が必要です。生徒自身が学習の主体となるために、家庭学習の必要性や自主学習の仕方をより丁寧に支援していきます。
- 2 生徒の生活自己評価 → 安心・安全で楽しい学校生活を維持していくために、今後も「爽やかな挨拶」を中心に、“生活の3重点”を意識した生活づくりに努めてまいります。また、引き続き、担任を中心に全職員が生徒と向き合い、生徒の不安や心配事を聞き取り、チームで支援にあたります。
- 3 生徒の授業評価 → 授業の始まりを大切にすために、教科担任も生徒とともに2分前着席を心がけます。また、対話的な学習の場を設け、思考力・判断力・表現力の育成をはかります。
- 4 保護者の学校評価 → 学習指導については、特に家庭学習の指導についてご意見をいただきました。学習内容の定着のために、個々の生徒が必要とする学習内容を支援していきたいと思っております。またいじめや支援を必要とする生徒への対応については、ご家庭と連携をとるために、一層きめ細やかな連絡を心がけます。
- 5 学校自己評価 → 教師自身による評価です。引き続き、生徒一人ひとりの個性が輝き、生徒が生き生きと学べる学校を今後も目指してまいります。